



九月の声を聞いた途端、朝夕、すっかり秋めいてきました。

今年の夏は短かったですね。

唐突ですが、みなさん、ミイラって、どんな香りがすると思います？

最近読んだ雑誌に、シチリアのミイラの話が載っていました。

シチリアでミイラが作られていたことも、初めて知ったのですが、それ以上に印象的だったのがミイラの香りでした。

“物が腐った匂いではない。英国で飲まれる牛肉でダシをとった病人向けのスープと同じような香りで、乾燥したカビと、細かい粉末状になって・・・(中略)・・・一度かいたら忘れられない印象的なこの匂いは、色々なものを連想させる ”

牛肉のダシのスープ・・・。

なんだか美味しそうな、やっぱり薄気味悪いような、ちょっと想像がつきそうにない香りです。

シチリアのミイラは、地下室の石灰岩で自然にできたものだそうです。

その反対に、エジプトのミイラは、内臓など体内のものを取り出し詰め物をするなど、高度な技術を駆使して作り上げたものでした。

このミイラ作りに必要不可欠だったのが、現在でもアロマセラピーで使われている“ミルラ”です。

もともとミイラの語源も、このミルラからきているようですが、この香りもなんとも形容しがたいもの。

渋くて、スモーキーで、少し薬くさいような、でも力強い香りです。

ミルラは、カンラン科のミラルノキ属の木から採れる黄赤褐色の樹脂から採取されます。

吉田が持っていたミルラは、めったに使わないので、存在すら忘れていたのですが、気がついた時には、水分が蒸発して、原型の樹脂のもどって固まっていました。

“ミルラって、本当に樹脂からとれるんだ”

なんだか、妙にナツクって感じです。

古代エジプトでは、ミルラの樹脂を固まったまま、直接火がつかないように燻して使っていたので、吉田も今度、試してみようかと考え中。

この香りが、ミイラ作成に使われたのは、防腐効果があった為ですが、それ以外にも健胃作用や分泌抑制作用、強壮作用があり、薬物として広く使われていました。

古代エジプトで、ミルラは神聖で特別な香りだったのです。

エジプトのミイラは、シチリアのミイラとは、ずいぶん異なる匂いがするのでしょうか。

どちらも、すすんで試してみたい香りではないですね。



9月お奨めのエッセンシャル・オイル・・・アニス

せり科のハーブの種子から採取されます。

とても強い精油で、特に消化器系に働きを高めてくれます。

9月のハーブ・ティー

夏の日焼けの改善に

ローズヒップ・エリカ

♥トリートメント後のハーブ・ティーは、その日のお客様の体調に合わせたブレンドでお出しします

aromatherapy・salon

rose・drop

TEL 090-3578-4048

静岡市清水区中矢部町19-17

吉田 浩子